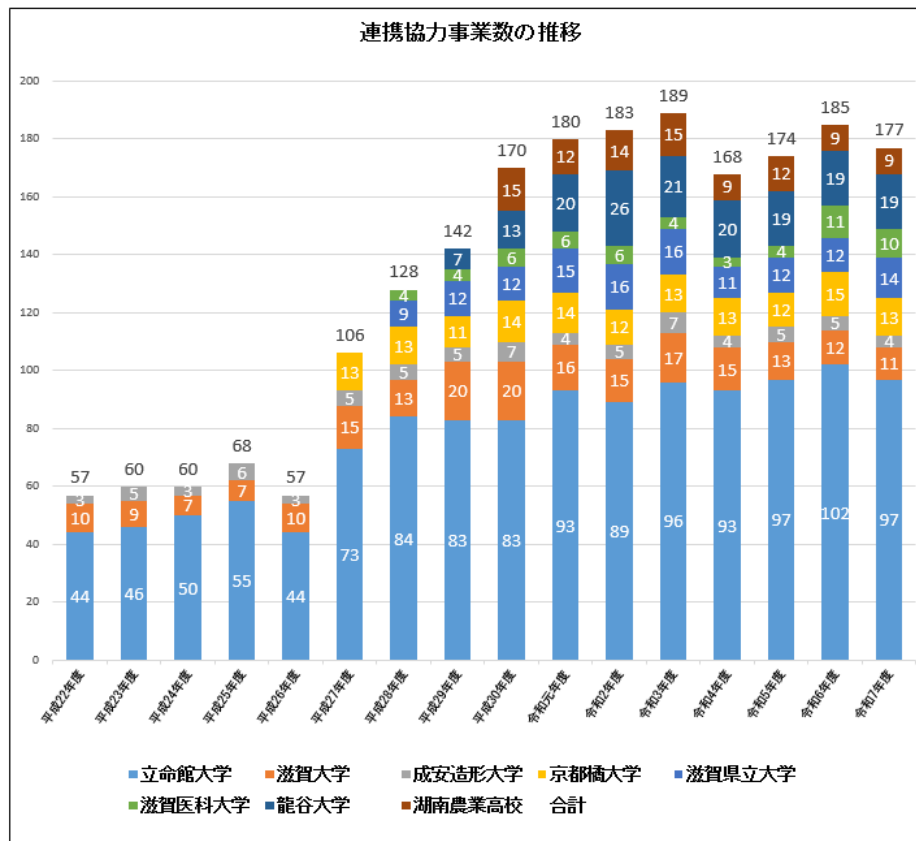


草津未来研究所 News Letter

令和8年7月27日発行

令和7年度の大学・高校との連携実績をまとめました。

草津市では、第6次草津市総合計画第2期基本計画の施策に「産学公民の連携によるまちづくりの展開」を掲げ、立命館大学、滋賀大学、成安造形大学、京都橘大学、滋賀県立大学、滋賀医科大学、龍谷大学および滋賀県立湖南農業高等学校と包括協定を締結し、市政における様々な分野での連携協力を行っています。



この度、令和7年度における連携実績をまとめました。令和7年度の連携協力事業数は計177件で、市制70周年記念事業の終了等により、令和6年度の185件と比べると－8件となり、令和5年度と同程度の件数となりました（「連携協力事業数の推移」参照）。

昨年度との比較

	立命館大学	滋賀大学	成安造形大学	京都橘大学	滋賀県立大学	滋賀医科大学	龍谷大学	湖南農業高校	合計
イベント協力	0	0	-1	0	0	0	0	0	-1
インターンシップ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
共催・後援事業	1	-1	0	0	0	0	0	0	0
業務委託	-2	0	0	0	0	0	0	0	-2
講師依頼	-1	0	0	0	1	-1	1	0	0
審議会等委員依頼	-3	0	0	-1	1	0	-1	0	-4
補助事業	0	0	0	-1	0	0	0	0	-1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	-5	-1	-1	-2	2	-1	0	0	-8

連携事業の内容を確認すると、昨年度と比較して「審議会等委員依頼」、「業務委託」等が減少しています（「昨年度との比較」参照）。

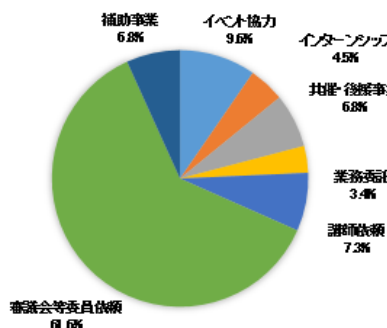
令和8年度の計画としては、165件(対令和7年度実績：－12)となる予定ですが、現時点で「未定」となっている事業を含むと計183件となり、そのうち10件は新規事業となっています。

連携協力事業の内容は、実態として「審議会等委員依頼」が最も多くなっていますが、今後は、大学との連携の質とインパクトを更に高めるため、大学との相互理解を深化させる必要があり、大学の知見を活かした研究成果を本市の施策に還元していくことが役割であると考えています。

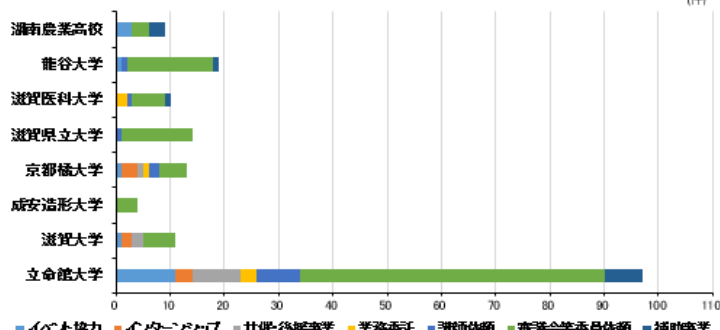
令和7年度 連携協力事業実績

	令和7年度 実績									令和8年度 計画								
	立命館大学	滋賀大学	成安造形大学	京都橘大学	滋賀県立大学	滋賀医科大学	龍谷大学	湖南農業高校	合計	立命館大学	滋賀大学	成安造形大学	京都橘大学	滋賀県立大学	滋賀医科大学	龍谷大学	湖南農業高校	合計
イベント協力	11	1	0	1	0	0	1	3	17	10	1	1	2	1	1	2	4	22
インターンシップ	3	2	0	3	0	0	0	0	8	0	0	0	3	0	0	0	0	3
共催・後援事業	9	2	0	1	0	0	0	0	12	9	2	0	1	0	0	0	0	12
業務委託	3	0	0	1	0	2	0	0	6	3	0	0	1	0	2	0	0	6
講師依頼	8	0	0	2	1	1	1	0	13	4	0	0	1	0	0	1	0	6
審議会等委員依頼	56	6	4	5	13	6	16	3	109	53	7	4	6	13	6	16	3	108
補助事業	7	0	0	0	0	1	1	3	12	5	0	0	0	0	0	0	3	8
合計(未定含まない)	97	11	4	13	14	10	19	9	177	84	10	5	14	14	9	19	10	165
無し・事業終了	18	3	3	4	2	4	6	2	42	19	1	1	3	0	5	5	1	35
未定										9	3	1	1	1	1	2	0	18
合計(未定含む)										93	13	6	15	15	10	21	10	183
うち新規事業										4	0	0	2	0	1	3	0	10

令和7年度 連携協力事業の内容別割合



令和7年度 大学別連携協力事業実績



草津市と立命館大学、パナソニック株式会社が令和7年8月25日に締結した『草津市、立命館大学およびパナソニック株式会社とのウェルビーイングの向上と地域の活性化に関する協定書』に基づいて、今後、近い将来に訪れる人口減少を見据えながら住民一人ひとりの幸福感や生活の質＝ウェルビーイングを高めることに主眼を置くまちづくりへの展開を図り、三者が連携・協力し、住む人にも、学ぶ人にも、働く人にも魅力あるまちの創出を目指します。